

校長室だより  
NO. 2  
平成30年4月9日

# すべては光る

梅園小学校長  
たか すりょうへい  
高 須 亮 平

## 「授業」のさらなる改善と充実で子どもを育てる

本年度の入学式は、葉桜模様の中ではありましたが、静粛な中で執り行うことができ、気持ちのよいスタートを切ることができました。保護者の皆様のご協力には感謝をしています。

さて、今回は、平成30年度の本県の教育方針を示させていただきます。本校は、歴史と伝統のある由緒正しい学校です。大正期に始まる「自学・自治」の梅園教育の流れを大切に、現在の子どものありのままの姿を基にして、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成を目指して、次のように設定しました。



入学式～新入生入場

### 1 本校の教育目標

明治4年(1871年)の「市学校」創設に始まる本校は、本年度で147年目を迎える歴史と輝かしい伝統を誇る学校です。これまで在職した先輩方が連綿と築いてきた「梅園の教育」を基盤に時代を見つめ次代を見通し、校訓「めあてを高くできるまでやれ」の具現を目指します。

- 目指す子ども
- I 自ら考え 進んで学び続ける子ども
  - II 豊かな心を持ち 思いやりのある子ども
  - III 心身ともに たくましい子ども

### 2 経営方針

- (1) 子どもたちが、自らの目標に向けて自信をもち、粘り強く主体的に活動する教育の推進に努めます。
- (2) 子どもも教師も互いにかかわり合うことを大切にし、他から学ぶ人間性豊かな教育に努めます。
- (3) 学校・家庭・地域の連携を密にし、広く意見を聞き、学校教育への反映に努めます。

### 3 本年度の重点目標

子どもが、自らの目標を設定し、「やればできる」自信をもち、「できるまでやる」粘り強さを持って努力し、自らを振り返り、よりよくする梅園の子どもを育てます。

#### I 知 自ら考え 進んで学び続ける子どもの育成

- (1) 自ら考え、主体的に生き生きと学び合う授業を展開し、子どもが自ら価値判断し、意思決定をする活動ができるようにします。
- (2) 個に応じ、個を大切に指し導に努め、子どもが自らの目標に向け、見通しをもって活動したり、その活動を振り返ったりすることができるようにします。
- (3) 各教科・領域での求める子どもの姿を明確にしたり、学校・学区をよりよく創り上げる活動を通して、基礎・基本的な知識・技能の習得とその活用を通じた思考力・判断力・表現力の育成に努めます。

#### II 徳 豊かな心を持ち 思いやりのある子どもの育成

- (1) 生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等を、道徳の時間の授業や各教科の授業等を通して育てます。
- (2) 友達などの他者への思いやりの心を広げる指導により、一人一人が認められる場をつくり、自

己肯定感・自己有能感を持つことができるようにします。

- (3) 学年間での交流活動を重視して、上・下級生を大切にすることを育てます。特に、1年と6年、2年と5年、3年と4年とのペアをつくるなどの異学年交流活動を行います。

### Ⅲ 体 心身ともに たくましい子どもの育成

- (1) 体育科の授業や体育的行事等の目的的な連携を図り、自らの目標を設定し、それに向けた活動の一層の充実に努めます。
- (2) 部活動の質的な活性化を図り、チームや個人の目標実現に向けた努力をすることができ、もの・こと・人を大切にすることができるようにします。
- (3) 保健指導の充実を図り、健康的で安全・安心な生活習慣を身に付けることができるようにします。

この教育方針は、校訓「めあてを高く できるまでやれ」の具現でもあります。そのため、それぞれの教育活動の中では、子どもたちが目標を持って粘り強く取り組むことを重点としています。また、伝統的な「自学・自治」の教育は、現在で言う「子どもの主体性を育成する」教育ととらえています。ここでは、その教育方針の特徴的な部分を簡単に説明します。



入学式～新入生点呼

まず、「知」については、平成32年度より全国的に実施される新学習指導要領で求める「主体的、対話的で深い学び」を具現する授業に努めます。これは、本校のこれまでの教育とかなり共通していますので、授業研究等を通して、その指導の手立てを探り、普段の授業に生かす取り組みの充実を図ります。そのためには、学年別の子どもの発達段階を踏まえた、その学年で身に付けるべき学習・生活技能を明確にしたり、教科・領域の求める子どもの姿などを教科・領域それぞれの学習内容のねらいと関連付けたりします。つまり、「授業」のさらなる改善と充実に努めていきます。

「徳」については、昨年度までの成果をもとに、人がうれしくなる「ふわふわ言葉」をさらに広げ、習慣化できるようにします。また、そのような子どもたちの態度や活動を認め、全校での取り組みを通して、一人一人の子どもが自己有能感・自己肯定感を持ち、自信を持って物事を考え、行動できるようにしていきたいと考えています。その他、学年間のペア学級交流の活性化を図り、下級生を大切にしたり、上級生を尊敬したりするなどの思いやりの気持ちも育てていきます。

「体」については、体育の授業、体育的行事において、目標を明確にすること、活動を振り返ることを通して、仲間を力を合わせることを意味する活動を図っていきます。そのことを通して、確かな体力を身に付けられるようにします。また、部活動指導の質的向上を図るため、効果的な練習法に努めます。勝敗だけにこだわるのではなく、「もの・こと・人」を大切に子どもを育てていきます。その他、子どもの健康や安全について、自己管理ができるようにするとともに、基本的な生活習慣を身に付けられるように努めます。

以上の内容は、昨年度までも実践してきたことですが、本年度はさらにその精度を高めた指導を行っていきます。常に子どもの姿をとらえ、とらえ続ける中で、子どもにとってよりよい姿を願いながら、さらなる改善と充実に努めていきます。